

## 第三者検証報告

「富士通グループ サステナビリティレポート 2018」は、開示情報の信頼性確保のためにビューローベリタスジャパン株式会社の第三者検証を受けています。

富士通グループサステナビリティレポート2018  
第三者検証報告

富士通株式会社 御中



2018年9月21日



ビューローベリタスジャパン株式会社  
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、富士通株式会社(以下、富士通)の責任において作成された「富士通グループサステナビリティレポート2018」(以下、レポート)に記載されるサステナビリティパフォーマンス指標のうち、富士通から要請のあったものに対して検証及びレビューを実施した。

検証の目的は、レポートに記載されるサステナビリティパフォーマンス指標の信頼性及び正確性を客観的証拠に基づき評価し、独立した立場から限定的保証意見を示すことである。レビューの目的は、レポートに記載されるその他のサステナビリティパフォーマンス指標の品質について、報告の改善のための評価を行うことである。

### 1. 検証及びレビューの概要

ビューローベリタスは、富士通との合意に基づき、以下の検証及びレビューを実施した。

#### 2017年度の事業活動に基づく社会及び環境パフォーマンス指標に対する検証とレビュー

| 対象指標                                | 訪問サイト   | 検証及びレビュー手続き   |
|-------------------------------------|---|---|
| 別紙1「対象とした社会パフォーマンス指標の一覧」に記載された全ての指標 | ・富士通 本社事務所<br>・富士通 本店   | ・富士通本社によって策定された書類の確認<br>・責任者・担当者へのインタビュー<br>・収集・報告されたデータと根拠資料との突合                                   |
| 別紙2「対象とした環境パフォーマンス指標の一覧」に記載された全ての指標 | ・富士通 本店<br>・富士通 長野工場<br>・会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社<br>・富士通コンポーネント株式会社 技術開発センター<br>・富士通エフ・アイ・ピー株式会社 横浜データセンター<br>・FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES | ・富士通本店及び訪問サイトによって策定された書類の確認<br>・責任者・担当者へのインタビュー<br>・現場査察及びデータの計測プロセスに対する評価<br>・収集・報告されたデータと根拠資料との突合 |

検証は、現時点での最良の事例に基づき、ビューローベリタスが定める非財務情報報告に対する第三者検証の手順とガイドラインを使用して実施された。ビューローベリタスは、本報告書に示された範囲に対して限定的保証を行うにあたり、国際保証業務基準 (ISAE) 3000 を参考にした。

レビューは、ビューローベリタスが定めるサステナビリティ報告に対する第三者レビューの手順を使用して実施された。

### 2. 検証及びレビューの結果

上述した検証の方法及び活動によれば、

- ・検証及びレビューにおいて確認した情報が正確でない、及び対象期間における実績を適切に反映していないことを示す事項は発見されなかった。
- ・富士通は、検証及びレビュー対象範囲の定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

ビューローベリタスは、全社員の日常業務活動において高い水準が保たれることを目指すためのビジネス全般にわたる倫理規定を定め、特に利害の対立を避けることに配慮しています。富士通株式会社に対するビューローベリタスの活動は、サステナビリティ報告に対するものだけであり、我々の検証業務がなんら利害の対立を引き起こすことはないと考えます。

## 別紙 1

## 対象とした社会パフォーマンス指標の一覧

| 検証対象指標                                      | ページ           |
|---|---------------|
| 女性リーダー育成プログラム受講者数                           | 15            |
| 女性幹部社員比率                                    | 15,142,166    |
| 障がい者雇用率                                     | 15,144,166    |
| 制度利用者数                                      | 15,16,149,167 |
| グローバルなビジネスリーダーの育成<br>次世代ビジネスリーダー育成プログラム受講者数 | 16            |
| 近隣住民との定期的なエンゲージメント実施状況(回数)の実績               | 16            |
| 地域社会貢献活動に関する社内データベース登録件数                    | 17            |
| 取締役数  | 33,166,202    |
| 度数率(災害発生率)                                  | 159,167       |
| 従業員数、平均年齢                                   | 166,202,204   |
| 年齢層別従業員数                                    | 166           |
| 新卒採用者数                                      | 167           |
| 地域別従業員数                                     | 166,203       |
| 平均勤続年数                                      | 167           |
| お取引先とともに『CSR 調達の推進』(書面調査社数)                 | 184           |

別紙 2

対象とした環境パフォーマンス指標の一覧

| 検証対象指標   |                                | ページ     |
|--|--------------------------------|---------|
| 新製品のなかでエネルギー効率トップレベルである製品が占める割合                        |                                | 85      |
| 新製品の資源効率の向上率   |                                | 90      |
| 事業系使用済み ICT 製品の資源再利用率                                  |                                | 94      |
| 事業所における温室効果ガス(CO <sub>2</sub> ・CO <sub>2</sub> 以外)の排出量 |                                | 97      |
| 事業所におけるエネルギー消費原単位の改善率                                  |                                |         |
| 輸送 CO <sub>2</sub> 排出量 ※富士通(株)および国内グループ会社              |                                | 110     |
| 水使用量   |                                | 111,112 |
| PRTR および VOC の排出量                                      |                                | 113,122 |
| 廃棄物発生量   |                                | 115,116 |
| 廃棄物有効利用率   |                                |         |
| INPUT(設計・調達・製造・開発)                                     | 水                              | 121     |
|  | エネルギー                          |         |
| INPUT(再資源化)  | 資源再利用率                         |         |
| OUTPUT(設計・調達・製造・開発)                                    | 化学物質                           | 122     |
|  | 大気排出 温室効果ガス合計                  |         |
|  | 大気排出 CO <sub>2</sub>           |         |
|  | 大気排出 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス |         |
|  | 廃棄物発生量                         |         |
|  | サーマルリサイクル量、マテリアルリサイクル量         |         |
| OUTPUT(物流) 大気排出 CO <sub>2</sub> ※富士通(株)および国内グループ会社     |                                | 123     |
| Scope3(上流) 輸送・配送 ※富士通(株)および国内グループ会社                    |                                |         |
| Scope1(自社) 直接排出  |                                |         |
| Scope2(自社) エネルギー起源の間接排出                                |                                |         |
| Scope3(上流) 購入した製品・サービス                                 |                                |         |
| Scope3(下流) 販売した製品の使用                                   |                                |         |
| Scope1 および Scope2 のエネルギー使用量                            |                                | 121     |

| レビュー対象指標                                  |      | ページ     |
|---|------|---------|
| ICT の提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減貢献量            |      | 79      |
| PUE 改善率                                   |      | 99      |
| 再生可能エネルギーの利用割合                            |      | 103     |
| 輸送における売上高あたりの CO <sub>2</sub> 排出量の削減率     |      | 109     |
| 輸送 CO <sub>2</sub> 排出量 ※海外グループ会社          |      |         |
| 水使用量の削減量                                  |      | 111     |
| 環境会計                                      |      | 119,120 |
| INPUT(設計・調達・製造・開発)                        | 化学物質 | 121     |
| INPUT(物流) エネルギー                           |      |         |
| OUTPUT(物流) 大気排出 CO <sub>2</sub> ※海外グループ会社 |      | 122     |
| Scope3(上流) 輸送・配送 ※海外グループ会社                |      | 109,123 |

## 温室効果ガス排出量検証報告書

富士通株式会社 御中



BUREAU VERITAS

2018年6月29日



ビューローベリタスジャパン株式会社  
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン(以下、ビューローベリタス)は、富士通グループサステナビリティレポート2018において富士通株式会社(以下、富士通)により報告される2017年度の温室効果ガス排出量に対して検証を行った。

### 1. 検証範囲

富士通はビューローベリタスに対し、以下の温室効果ガス排出量情報の正確性について検証し限定的保証を行うことを依頼した。

- 1) スコープ1及びスコープ2 温室効果ガス排出量
  - ・富士通及び国内グループ会社33社、海外グループ会社24社の事業活動に伴う、2017年4月1日から2018年3月31日の期間におけるエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量
  - ・半導体製造を行う富士通グループ国内3拠点の事業活動に伴う、2017年4月1日から2018年3月31日の期間におけるHFC、PFC、SF<sub>6</sub>、NF<sub>3</sub>排出量
- 2) GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standardに基づいて算定及び報告されたスコープ3排出量のうち、カテゴリ1, 4, 11の排出量。但し、各カテゴリにおける算定範囲は富士通の決定に基づく。

### 2. 検証方法

ビューローベリタスは、ISO 14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertionsの要求事項に従って検証を行った。

ビューローベリタスは、限定的保証の一環として以下の活動を行った。

- ・温室効果ガス排出量を特定し算定する責任のある富士通の関係者へのインタビュー
- ・温室効果ガス排出量を決定するために用いられた情報に対する、富士通の情報システムと収集・集計・分析方法の確認
- ・温室効果ガス排出量の正確性を確認するための元データのサンプル監査

### 3. 結論

実施した検証作業とプロセスによれば、温室効果ガス主張が以下であることを示す証拠は認められなかった。

- ・著しく正確性を欠き、対象範囲における温室効果ガス排出量データを適切に表していない
- ・富士通が定めた温室効果ガス排出量算定方法に従って作成されていない

| 検証された温室効果ガス排出量                    |  |                                     |
|-----------------------------------|--|-------------------------------------|
| スコープ1<br>198 kt-CO <sub>2</sub> e | スコープ2<br>939 kt-CO <sub>2</sub> e (ロケーション基準)<br>912 kt-CO <sub>2</sub> e (マーケット基準) | スコープ3<br>5,661 kt-CO <sub>2</sub> e |

スコープ3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリ1: 2,169 kt-CO<sub>2</sub>e | カテゴリ4: 32 kt-CO<sub>2</sub>e | カテゴリ11: 3,460 kt-CO<sub>2</sub>e

#### 【独立性、公平性及び力量の声明】

ビューローベリタスは、独立保証業務の提供に180年の歴史を持つ、品質・健康・安全・社会・環境管理に特化した独立の専門サービス会社です。検証チームメンバーは、当該任務の要求の範囲外において、富士通とのビジネス上の関係は有していません。ビューローベリタスは、日常業務活動におけるスタッフの高い倫理基準を維持するため、倫理規定を導入しています。検証チームは、環境・社会・倫理・健康・安全の情報・システム・プロセスに対する保証について広範囲な経験を有しています。